

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL：03-5253-8111 内線42353
 アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成22年6月30日

リコール届出番号	外-1673	リコール開始日	平成22年7月1日
届出者の氏名または名称	Ferrari Japan 株式会社 代表取締役 エドウィン・フェネック	製作国；イタリア共和国 製作者名；フェラーリ社 問合せ先；お客様相談室 TEL 03-5783-5885	
不具合の部位	、 燃料装置(燃料パイプ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>エンジンルーム内において、燃料パイプと冷却水ホースのクランプの間隙が不足しているため、走行中の振動等により燃料パイプが当該クランプに干渉する可能性がある。そのため、燃料パイプが損傷し、最悪の場合、燃料が漏れ、排気管等にかかり、火災に至るおそれがある。</p> <p>燃料パイプ接続部の強度が不足しているため、規定トルク以上で当該接続部を締め付けると、亀裂が発生することがある。そのため、燃料パイプ接続部が損傷し、最悪の場合、燃料が漏れ、排気管等にかかり火災に至るおそれがある。</p>		
改善措置の内容	<p>全車両、燃料ディバイダブロッカー式を対策品と交換する。</p> <p>全車両、燃料パイプを点検し、対象車両は対策品と交換する。</p>		
不具合件数	、 0 件	事故の有無	、 なし
発見の動機	イタリア本社からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者へ周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者；ダイレクトメールで通知する。 ・ 自動車分解整備事業者；使用者の特定はできているが、日整連発行の機関誌にも掲載する。 ・ 対策実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に、外-1673 のステッカーを貼付けする。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
フェラーリ	E-F355B	F355 ベルリネッタ / F355GTS	ZFFPR41JPN0102414 ～ ZFFXR42JPN0114758 平成7年7月3日～平成11年12月15日	560台	
	E-F355S	F355 スパイダー	ZFFPR48JPN0102609 ～ ZFFXR48JPN0116419 平成7年9月8日～平成11年10月7日	78台	
	(計2型式)	(計2車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成7年7月3日～平成11年12月15日	(計638台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。